

株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社グループ第97期中間期（2025年4月1日から2025年9月30日まで）の決算をご報告するにあたり、一言ご挨拶申し上げます。

当中間期は、今年度が最終年度となる中期事業計画「R2」で柱に掲げた「主力ビジネスの利益ある成長の加速」、「新規ビジネスの始動と開拓」に全社で取り組むとともに、技術VEによるコスト削減、徹底的な経費削減などのレジリエンスの強化に努めました。電池事業では高容量タイプの高出力円筒形二酸化マンガンリチウム一次電池の開発、ニッケル亜鉛電池のグリッドフリーソーラーカーポートの実証実験への採用、ニッケル水素電池における水素貯蔵タンク用高容量AB2型水素吸蔵合金の開発など販売促進および製品開発に努めました。電子事業では上期に続き、世界最小クラスの「Bluetooth® Low Energyモジュール」の電波放射性能を向上させた新製品のサンプル出荷を継続しております。また、財務体質の健全化や今後の資本政策の柔軟性および機動性を確保することを目的として、資本金、資本準備金および利益準備金の額の減少ならびに剰余金の処分を実施いたしました。

当中間期の経営成績につきましては、売上高は電池事業でリチウム電池の伸長があったものの、ニッケル水素電池および設備関連ビジネスの減少、ならびに電子事業の各種モジュールの減少と一部機種が生産終了があり、前年同期と比べ28億83百万円減の297億76百万円となりました。営業利益は資本金等の変更に伴わない外形標準課税が減額されたことによる販売費及び一般管理費の減少、電池事業での原材料価格の変動や技術VEによるコストダウン等の影響があったものの、為替影響や、電池・電子両事業での売上減により前年同期と比べ2億32百万円減の5億53百万円、経常利益は前年同期と比べ1億86百万円減の4億45百万円、親会社株主に帰属する中間純利益はアルカリ乾電池に関わる固定資産の減損損失1億88百万円の計上により、前年同期と比べ2億31百万円減の1億21百万円となりましたが、いずれも期初の想定より良化しました。

2026年3月期の配当予想につきましては、現時点では未定とさせていただきます。引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

下期以降も依然として厳しい事業環境が予想されますが、新たな筆頭株主であるSILITECH社またはPSAグループとの連携を一層強化し、様々な領域でのシナジー創出に向けた取り組みを実行することで「主力ビジネスの利益ある成長の加速」を推進してまいります。「新規ビジネスの始動と開拓」としては、ニッケル亜鉛電池の実用化に向けた取り組みを確実に推し進めるとともに、SMD対応小型全固体電池やパワーマネジメントソリューションにおける要素技術の開発も継続してまいります。

また、2025年11月に「転進支援制度の実施」を発表いたしましたが、当社グループは上期に引き続き外部環境変化に対するレジリエンス強化として、DXによる業務効率の向上や人材活用の最適化に向けた制度改革等の各施策の実行についても一層強化してまいります。そして、「進化に挑戦 輝く未来と笑顔のために」という経営理念のもと、すべてのステークホルダーにご満足いただける「And Game」の実現を目指し、企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

※Bluetooth®ワードマークは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する商標です。



代表取締役社長

長野 良

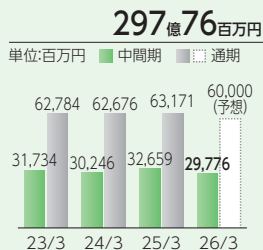
Profile プロフィール

1961年 9月 7日生まれ
1985年 4月 富士通㈱入社
2019年 4月 当社執行役員常務
2019年 6月 当社代表取締役社長

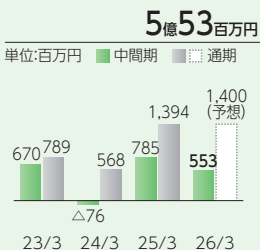
2025年12月

連結決算ハイライト

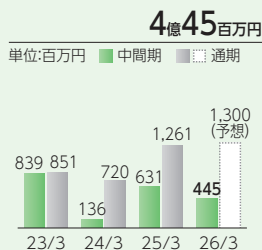
売上高



営業利益
又は営業損失(△)



経常利益



親会社株主に帰属する中間(当期)純利益又は
親会社株主に帰属する中間(当期)純損失(△)

